

式 辞

新年明けましておめでとうございます。

平成 30 年屋久島町成人式を挙げるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

すがすがしい新春の佳き日に、晴れて成人式を迎えられた皆さん、新成人、誠にありがとうございます。町民を代表して心からお祝いを申し上げます。

また、皆さんをこれまで慈しみ育ててこられた保護者をはじめ、ご家族の方々、常に皆さんを見守り、教え導いてくださった学校の先生方や、地域の関係者の方々に対しましても、敬意を表するとともにお慶びを申し上げたいと存じます。

本日、この式典にご出席されている新成人の皆さんは、人生の大きな節目として大人の仲間入りをされたわけですが、「成人になる」あるいは「成人式」とはどのようなことでしょうか。

端的に表現すると、成人とは心身とも十分に成長したことを自覚し、「みずから」生き抜こうとする意識を持つ者であり、成人式とはそのような意識を持った青年を皆で祝い激励する儀式のことであると言えます。

皆さんが一人の成熟した大人として認められたことによって、これからは法律的に様々な権利が与えられることになります。それは同時に、自らの判断と社会人としての行動に、果たすべき責任と義務が求められることを意味します。どうか皆さん、この成人式を人生の飛躍の機会とし、将来、人としてどのようにありたいのか、そのためにどのように歩いていくべきか深く考え人生設計を組立ててください。そして力強く社会人としての第一歩を踏み出していきたいと思えます。

さて、皆さんが生まれた 20 年前はどのような年であったのでしょうか。国内の情勢では、橋本内閣において消費税が増税され、個人消費が冷込み、更に金融事業者の相次ぐ破たんにより金融不安が増大して日本経済の先行きが不透明な時代でありました。そのような中、サッカーワールドカップアジア最終予選において、後に「ジョホールバルの歓喜」と呼ばれることになる劇的な勝利で本戦初出場が決定し、日本中が盛り上がる明るい話題もありました。また、その年に大ヒットしたアニメ映画の「もののけ姫」は、その制作に至る構想上、屋久島の神秘的な森に大きな影響を受けたとされ、屋久島の森が日本各地から脚光を浴び、観光地として更に加速していくきっかけとなりました。

このように、私達が生きている社会では、いつの時代も人の心を動かす様々な出来事があります。新成人の皆様方におかれましては、これから遭遇する人生を変えるような出来事や、人との出会いを大切に生きていってほしいと願っています。

大海原を渡る航海には、目的地に到達するまで見晴らしがよく凪いでいる日ばかりでなく、嵐のような荒波の中を航海しなければならないこともあります。皆さんはこれからひとりの大人として、悩みながらも自らの責任と判断において、人生を渡る船の舵を切って行かなければなりません。舵を切った先が回り道であったり、挫折に立ち往生したときは、皆さんを見守ってきた多くの方々の愛情を思い出し、時には助けを求めて自分自身が進むべき「航路」を見つけ出してほしいと思います。その「航路」は、振り返った時に堂々と胸を張れるのか自問自答を繰り返しながら、感謝の気持ちを一時も忘れることなく立派な人生を築いていくことを願ってやみません。

結びになりますが、ご臨席をいただいたご来賓の皆様方におかれましては、公私ともご多用のところ、新成人を祝い励ましてくださいますことに厚くお礼を申し上げますとともに、ここにお集まりの皆様方の一層のご健勝とご活躍、並びに迎えました平成30年が、皆様にとって実りのある、素晴らしい一年となりますよう心からご祈念申し上げます、私の式辞といたします。

平成30年1月3日

屋久島町長 荒木 耕治